

# ちよつといし話

## ～ 将来何が必要か ～

21年10月1日

衆議院の議員を選ぶ選挙が8月30日に行われ、民主党が308議席を占め過半数を大幅に超え、政権を担う事に成りました。中には素人の方が比例で当選してしまいました。一国の政策を任せる事は心配です。人数合わせは迷惑な事です。多大な費用（議員一人あたり年間3500万円）が掛かる議員様がこれから勉強しますでは困ったものです。決して安い公金ではありません。私が思いますには、この様な方は市会議員の選挙に出ても当選出来ないと思います。実際、市会議員選挙で最下位落選の方が今回の衆議院選挙のブロックで当選されたそうです。私でも比例に名前をかせば市会は無理だが国会は簡単に行けそうです。国会議員に成る為には何らかの足枷が必要ではなかろうか。例えば国会議員の秘書を5年以上経験したとか、県会議員を経験したとか、政治に何らかの形で参加していた事を条件にしたら如何かと思います。東大出のキャリアと戦う事などどうてい無理な事です。若ければ良い、年寄りにはダメと一概に片付けるのは早計です。自民、民主ではなく日本國の為に切磋琢磨して頂きたい。将来に向かって今、何が必要なのかを見極める眼力のある指導者を必要とします。そのためには信仰心が無くてはいけません。信仰とは正しい道を歩む事です。故に、年齢ではなく人物本位で考えるべきでしょう。それと相俟って物事を数で決めるのは危険な事です。会社でも社長は一人ですし、だんだん世の中、偉くなるに従って人数が少なくなります。だからと言って数の多い集団が無能と言う事ではありません。唯、組織と言うものはピラミッド型に成りやすいのです。世の中は全て需要と供給のバランスが取れてこそ平和的に物事が解決出来ると思います。戦争と平和、先祖と子孫、老人と若者、黒字と赤字、世界と日本、等々世の中「言うは易く行うは難し」です。此の世は不平等の中に平等の存在がある事を理解しないと不足不満の塊と成ってしまうでしょう。過日、中学生の下校に遭遇しました。その時、数人の男女が「こんにちは」と挨拶をしてきたのです。久しぶりに、爽快な気持ちになりました。思えば「ナマステ」と言い合掌しながら頭を下げる挨拶から「南無阿彌陀佛」の念仏が出来たとも言われています。ちなみに、阿彌陀様の御真言は「オン アミリタ テイセイカラ ウン」です。

章 章（あきらか）

善壽界 善入院油掛地藏尊